



## 臨床看護技術演習に参加して…

2年 安岡 かよ

領域別実習が終了し、総まとめの実習として11月に「統合実習」がおこなわれます。今までの領域別実習では1名の患者さまを受持ち、必要な看護をおこなっていました。しかし、統合実習では最大4名の患者さまを受け持ち、看護を実践します。そのため「臨床看護技術演習」の講義の中で、「状況判断」「優先順位」「配慮」「連携」「倫理的配慮」「報告・連絡・相談」等の考え方を学び、演習をおこないました。



演習では、学生2名で3名の患者さまに必要な援助をおこないました。患者さまが安心して治療や援助を受けられるようにするには、前日の検査や当日のスケジュールを把握した上でタイムマネジメントをおこない対応をしていくことはもちろんのこと、瞬時に状況判断をおこない優先順位を考え対応することの重要性を実感することができました。演習後にはホワイトボードを用いて学生同士で自分たちのおこなった看護についてディスカッションを行いました。その後学生同士の振り返りを発表し、教官から助言をいただきました。目の前の患者さまに「何かをしてあげたい」だけでなく、その援助の必要性や状況に応じた対応、根拠などさまざまな視点で考え援助をしていくことが必要であることなど、自分の課題も明らかになりました。

統合実習では今回の演習で学んだことを活かし、患者さまに応じた援助ができるように頑張っていきたいです。

